

SEG 中3多読保護者アンケートの回答とそれに対する SEG のコメント

2017/5/25

SEG 英語多読コース

文責 古川昭夫

中3 多読クラス保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の方から、アンケートで多数のご回答・ご意見・ご質問をいただきました。以下、○は保護者の皆さんからのご意見・コメント、■はSEGからの返答とコメントです。紙面の都合によりすべてのご意見に対してコメントを掲載しておりません。また、いただいたコメントに一部加筆修正を加えさせていただいた箇所がございますのでご容赦ください。

Q1 お子様はSEGの多読クラスの多読パートについて、どのようにお話されていますか？

◇中3多読Eクラスのアンケートから

■中3になり、E・E#クラスでは、1冊5000語以上の本を安定的に読めるようになる方が増えてきました。中には1万語を超す本を読めるようになっている方も出てきています。中3、高1は、多読の花が咲いてくる時期ですので、ぜひ、だんだんと長い本にもチャレンジしていきましょう。この春から始められた方も、1冊2000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと、長さの長い本に慣れていただきたいと思います。

○楽しい！！でも最近難しくなってきたかな？と話しています。

○英語を英語のまま理解できるようになってきたそうです。

○先生がレベルに合った本を選んでくれるので、読めるので楽しい。

○さまざまなジャンルの本を薦めてくれるため、いつも楽しみにしている。最近、宿題の本が読むことができず、たまってきた。

■たまってきた場合には、無理せず、読まなくてもいったん返却してください。現在の力に合った本、はやりの本をお渡ししたいと思います。

○いろいろな本が読めるようになってきて、楽しいようです。

○本の好き嫌いで、嫌い(苦手)な話はなかなか読めないようです。

○読みやすく面白い本と、興味の持てない本がある。

■嫌いな話や興味の持てない本は今の段階では無理して読まなくてもかまいません。読まなくてもいったん返却のうえ、担当の先生に好みを連絡ください。

○自分に合った本を読むことができる。集中して読める。

○春期講習から始めたばかりで、まだ手探りの状態で勉強のやり方がつかめず、戸惑っているようです。

■潜在能力の高いお子さんですので、これから、読めるようになってくると、急速にレベルを上げていけると期待していますが、無理せず、ゆっくりとレベルを上げていきましょう。

○いろいろな種類の本を読むことができ、楽しい！とのこと。

○先生方によって本のチョイスが変わってくるようで、個人的に自分の好みを伝えられる時間があればと言っております。自分の思いを言いやすい先生と、遠慮してしまう先生に分かれるようなので……。

■遠慮なく、本の交換時に、あるいは授業中巡回時に好みを連絡ください。

○本人は宿題の量が多いと申しております(時間が足りなくて困っている様子もないので無視して結構です)。

○色々と本を読んで、楽しいと思っている。

○遅刻ばかりしているようで申し訳ございません。「少し遅れても特に問題ない。最初から行く必要ない。」等、言っています。夢中になれる本が特にないかとか……マンネリ気味のような気がします。

■もうすこし読めるようになると、夢中になれる本がでてくると思います。マンネリ打破のため、担当の先生とも相談して、夢中になれる本を探しています。

○初めての経験ですが楽しんでいるようです。

○今のところ辞書を引かずに絵本の読書にチャレンジしているようです。

○毎週たくさん借りてきますが、忙しくてなかなか平日は読めません。

■英語がダブルスクールとのことで忙しいようですが、ぜひ、電車の中などを使って読んでいただければと思います。

○一冊読み終わるのに時間がかかるようになってきました。嫌がらずに前向きに読んではいます。

■1冊1万語を超す本を読めるようになってきて、これからの読書力の伸びが楽しみです。

○古川先生の選んでくださる本が面白いそうです。

■ありがとうございます。Cam Jansen Mysteries 全巻制覇おめでとうございます。続いて、いろいろな本を楽しんでもらいたいと思います。

○楽しい。先生がやや難易度の高い本を選んでくださることもあり、英語の学習というより内容を楽しめるようになってきた。

■多読は、内容の楽しい本を読むのが一番です。ある程度読めるようになってきていますので、どんどん内容を楽しんでもらいたいと思います。

○先生から多読ノートにコメントをもらって喜んでいきます。最近難しい本になってきたのか、以前のようにスラスラ読めず、苦戦している様子も見られます。読むのに時間がかかるようですが、楽しんでいるようです。日本語の本と同じくらいのスピードで読めるようになりたいと言っています。

■本格的なミステリーが中心となり、やや、難しいかもしれませんが。ちょっと、かわいいやさしめの本と、難しめの本を両方楽しんでもらおうと思います。

○楽しいと言っています。本も面白いと言っています。

○とっても楽しいです。

○無理なくたくさんの英文に触れられてうれしい。

○楽しいと申しております。

○「ロミオとジュリエット」が面白いそうです。

○最近では、学校の定期テストの勉強の合間にお借りしている本を読んでいる、成長が見られます。

○楽しい、と話しています。読む本は先生がピンポイントで選んでくださるのですが、自分の希望を言うときもある、とのこと。

■中3になってくると、読める本の種類が増えてくるので、希望があれば、どんどん担当の先生に伝えてください。

○先生が読む本に対してアドバイスをくださるので、それにしたがってがんばっているようです。

○本を読むのが楽しいと言っています。

○本の選択など、適切なアドバイスがいただけて満足しているようです。

○今まではミステリー系が好きということしか把握しておりませんでした、最近ではほのぼの系も好んで読んでいるそうです。

○担当の先生の選書など、気に入っているようです。

○読みやすく、楽しく読むのにちょうど良い。

○学校の授業のレベルよりも少し簡単なので、通っていても意味があるのかよく分からないと言っています。

○SEG の多読授業は楽しいそうですが、実際にテストの点に反映されているようには感じない、役に立っているかどうかは分からない、と言います。

■多読が文法や語彙の習得に有効であることを示した論文は、多数あります。また、SEG の多くの先輩達が、多読で点数を伸ばして、大学に合格していますので、安心して多読を楽しんでください。

○難しい本が読めるようになってきて楽しいそうです。

○段々、貸してもらえる本が面白くなってきたと言っています。

○部活動や通学に時間を取られて、帰宅後に本を読む時間がないことが多いので、多読授業での読書はとても貴重な時間のようです。とても集中して本が読めて良いと話しています。

○学校で行われる学力テストの長文読解が読めるようになったので、続けて通っていて良かった、と。

○微妙に飽きてきた。

■お知らせいただきありがとうございます。潜在的に能力の高いお子さんですので、さらに、知的に刺激的な本を読んでもらうようにしたいと思います。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

■中3になり、Dクラスでは、多くの方が、1冊2000語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊5000語を超す本も日常的に読まれる方も出てきています。全体的に、中2の時、バランス良い多読をした方は、読解力や読むスピードが上がり順調に推移しています。一方、「飛ばし読み」に偏りすぎて、「じっくり読む、高い理解度で読む」経験が足りない方もいます。中3のこの時期、「量を読む」と同時に「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やややさしめの本を多めに薦めています。一方、この春から始められた方は、1冊500-1000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと、長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○学校の英会話の授業で役に立っていると聞いています。

○たくさんの本を読む機会があり、楽しんでいます。

○楽しい！分かりやすい！Good job! と話しています。

○プリントがとても勉強になるそうです。

○特に何も話をしません。

○本を読むことは楽しいと言っておりますが、クラスが1番上のクラスから真ん中のクラスに変わって、用意してくれる本もやさしくなっていると感じているようで、もう少し上のレベルの本でもいいのでは、と感じるようです。クラスが変わったときにその差を感じたようで、上のクラスを目指したい、と言っておりました。多読の本選びは先生とコミュニケーションを取りながら、本人も納得できるものを選んでもらうことができるかと思うので、どうぞよろしくお願いいたします。

■クラスが変更となった場合、基礎固めのため、また、やさしい本から読んでもらうようにしています。基礎が固まり次第、また徐々に難しい本に移行していきます。

○特に話はしていません。聞けば、今日何冊読んだとかは教えてくれます。

○一斉多読が面白いとのこと。

○特に何も言っていない。ただ、ずいぶん難しい本に挑戦するようになったらしく、今は苦勞しています。

■中3になりましたので、どのクラスでも、ちょっとずつ読む本が難しくなっていますが、やさしい本も用意してありますので、難しすぎると感じる場合には遠慮なく、担当の先生にお申し出ください。

○自分にレベルが合っていていいと思う。

○早くいろんな本が読めるようになりたい。

○時々つまらないシリーズものもあるけれど、大体は楽しく読めている。

○細やかなご指導をいただいていると聞いております。熱心なアドバイスで、以前以上に洋書を読む時間が増えたように思います。

○学校で習わないような表現の英語が使えて良いと思う。

■Leveled Readers と言われる本や、絵本では、学校ではあまり習わないけど、現地の子供がよく使う表現がよく出てきます。生の英語に近い表現なので、ぜひ、身につけてもらえればと思います。

○いろいろな本を読むのが楽しいと言っています。本を読む中で英語力が up しているのが自分で分かるので、今後も続けたいと言っています。

○熱心な先生で良い、と話しております。

■担当の先生にお伝えします。

○あまり話しません、読むことは嫌ではないし、意味も分かっているようです。

○読んだ本のことを話したりしています。

○自分のペースで、自分の実力に添った内容で学習ができる。

○話はしてくれませんが、家庭ではどうも毎日コツコツ読まずにまとめて読んでいるようで、毎日少しの時間でいいので読んでほしいです。

○好みを考慮した本を選んでもらえたと喜んでいました。

○聞いても何も話をしてくれません。

○自分のレベルに合った本を先生が選んでくれるので、読みやすい。

○勧められる本が自分の趣味に合っていて楽しいそうです。

○テキストの物語が楽しいです。

○C と D を行き来していますが、授業自体は D はレベルが高く、ついていくのが大変ですが、D の方が楽しいと話しています。

○役に立っていると思う。分からない単語が出てくると難しく感じる。

○早く難しい本が読めるようにがんばりたいと思っています。

○他の学校の方々との交流もあるのも嬉しいですし、自分で読むのは家でできると思ってもなかなか言われないと……、また、親でなく先生に促していただかないとだめな年頃なのでありがたいです。

○英語の本がたくさん読めて楽しい。

○最初の頃は、多読に慣れていないせいか時間が長く感じられたようですが、今はとにかく楽しいようです。

○先生と話し合いながら自分のレベルに合った本を読めるので楽しい。急に色々な本が読んで理解できるようになった。

○先生が自分の読みたい本の要望を聞いてくれたうえで、次に読む本を選んでもらえることで、楽しく多読ができている。

■生徒と話し合いながら、適切なレベルを探り、生徒の好みの本を探すのが、SEG の多読の方針です。

○授業は楽しく、すんなり英語の授業を受け入れることができると話しています。

○とても感じの良い先生。

■おほめの言葉をありがとうございます。担当の先生に伝えておきます。

○勉強した文法や単語は実際の使い方が分かりやすいです。

○読む内容はだんだん長くなってスピードも早くなってきたとのこと。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

■中3になり、Cクラスでは、多くの方が、1冊500語~1000語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊2000語を超す本を読み始める方も出てきています。一方、中3のこの時期、「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やさしめの本を多めに薦めています。1冊500語-1000語程度の本を「しっかりと読める」ようになれば、高校から大きく読書力・英語力を伸ばす事ができます。無理して長い本に手を出すのではなく、しっかりと読める本をしっかりと読む癖をつけていただければと思います。一方、この春から始められた方は、1冊200-500語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○マイペースに楽しんでいるようです。時間的にも読めるのかと心配していましたが、日常に組み込んでいるようです。先生も、子どもの好きな分野を勧めてくださっていて、苦手意識はないです。

○楽しく読んでいるとのこと。

○自分のレベルに合った本を提供してくれるので、とても良いそうです。

○多読は楽しんでいる。文法はあまりやっている感じがしない。早く上のクラスに行きたい。

■文法は多読パートでは原則やっておりません。Native Partの方で、重要事項を反復的に扱い、文法の定着をはかっています。しっかり、積極的に参加し、多読もたくさんして、上のクラスに上がっていきましょう。

○授業中はタイムリーにアドバイスをいただいているようですが、まだどのくらい成果が出ているのか実感はあまりないようです。

○まだ2回しか参加しておりませんが、もっと難しいものを読みたいと話しております。

○最近とても簡単なCDで内容は面白くないと言っています。

○先生に質問しやすくて良い。

○先月、初めて ORT の本が簡単だと言っていました。0.5 はいきなり読んでも分かると話していました。

○菅原先生は様々なジャンルの本を適切に紹介してくださり、楽しいと言っております。

○少しずつ読解力がついてきました。

○自分のペースで読み進められるところが良いと言っております。

○とても楽しく、力になると話しております。

○クラスが変わったばかりで、あまりよく分からないのと、学校の宿題(かなり多く、提出期限が短い)の関係で授業を休みがちです。

○楽しく授業を受けているようです。

○特に話をしたりしませんが、続けてみないとまだよく分からないようです。

○好きな本を読めるので良い。

○多読自体は好きなのですが、先生が変わり、少し戸惑っているようです。

○思春期只中で、話したがりません。

○娘にあった本を貸してくれるので、苦にならず読んでいます。

○学校で文法を習っておらず、中 3 になってから、時々授業で、文法が出てきて、大変に感じることもあるそうです(2 年生では感じたことがなかったようです)。

■ 文法用語で分からない言葉がでてきた場合には遠慮なく、担当講師に質問ください。なお、学校で文法の授業がない方で、中学の文法を整理したい方には、「くもんの中学英文法」(978-4774300009 くもん出版)や、「くもんの中学基礎がため 100% 中 1 英語 文法編」(978-4774319971 くもん出版)が自習しやすくお勧めです。

◇多読多聴 R クラスのアンケートから

■ R クラスは、新規入会の方が多いですが、中 1 からの継続の方もおり、幅広いクラスです。個人指導の時間が長いので、個別的なバックグラウンドに応じて、個別の対応をさせていただいています。

○好みの読み物がたくさんの蔵書の中から選べて楽しいと申しております。

○先生が自分の興味のありそうな本を薦めてくださるので帰宅して翌週までに楽しく読むことができる。ボリュームもテキストそのものは薄いので、通学の途中などでも読みやすい。

Q2 お子様は多読クラスの Native パートについて、どのようにお話されていますか？

◇中3多読Eクラスのアンケートから

■中3E・E#クラスの Native Part では、英語での Game も取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気です。「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、「多書」ということで、1分、3分、5分間と時間を区切って、辞書なしに、できる限り長い英文を書くという演習を取り入れました。普段の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writing ということで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうことも行います。また、短い Video を観てディスカッションをしたり、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法を導入し、生徒と先生で、奇妙で楽しいそのクラスだけの Original Story を作るという授業も取り入れています。

○楽しい！

○Ben 先生がフレンドリーで分かりやすく、先生とコミュニケーションできるようになってきたことがとても楽しい、とのこと。

○今年から学校でフランス語を始め、フランス人の先生が英語で文法を説明するのですが、SEG で慣れているため苦手意識もなく、すんなり頭に入ってくるとのことです。

■良い報告をありがとうございます。

○Ross 先生が面白く、積極的に英語を聴く、話す意欲がわく。

○詳しい話はしてくれないのですが、「楽しい」の一言だけです。

○授業はとても楽しいようです。Ross 先生の授業がお上手で、集中できているようです。

○テーマに沿ってクラスの意見が上手くまとまるときと、ばらばらのまま終わってしまうことがある。

■生の授業なので、バラバラで時間切れになってしまうこともあります、ご容赦ください。

○楽しく通っている。

○まだ始めたばかりなので、多読パート同様に手探りの状態で、他の生徒さんのレベルが高く、ついていくのが大変とのこと。

■新規入会の方は、「聴く・話す」という点では、最初戸惑いがあるかと思います。半年程度で追いつきますので、ご安心ください。

○プリントで重要単語がまとめてあるものが好きなようです。

○うちの娘はネイティブの先生が大好きで、以前は英語を皆の前で話すことに恥ずかしさを感じていたのですが、先生との対話の中で、言葉がつながる楽しさを見出し、もっと英語で会話ができるようになりたいと話しております。

○楽しんでいるようですが、受けっぱなしという印象です。「SEG は宿題ないの？」と聞くと「やっている、ウルセー。」という感じで、さっぱりどんな感じか分からなくなってきました。

■中3男子はそんなものかと思いますが、しっかりやっていますので、ご安心ください。

○他校のお友達もでき、ディスカッションなど楽しく挑戦しているようです。

○先生のお話は理解できているようです。もう少し話せるといいな、と言っています。

○文法事項を教えてもらえないそうです。

■文法を正面から教えるタイプの授業形式ではありませんが、文法が自然に身につくよう、重要な文法事項を反復的にとりあげるカリキュラムとなっていますのでご安心ください。

○ネイティブに慣れるには良いが、あまり何か学んでいるという実感が無いそうです。Writing は書きっぱなしで直してもらえないので、どこが違っているかよく分からないそうです。

■Native の授業では、Free Write という「多書」の授業と、Story Writing/ Essay Writing の形で何度か書き直してもらう「精書」の授業の両方があります。前者の Writing では、量を重視し、直していません。後者の Writing では、主要な間違いを訂正するようにしています。

○ゲームや映像などの題材がバリエーションに富んでいるのでとても楽しい。

○授業に活気があり、みんな積極的に取り組んでいて楽しいそうです。

○話が面白いと言っています。

○とっても楽しいです。

○先生が面白くて授業が楽しい。

○ペア練習が苦手だそうです。

○3年生になってから少し内容が難しくなったけど、ついていけている。授業は相変わらず楽しい、とのこと。

○とても楽しい、特にゲームは楽しいと前から話しています。

○とても楽しいと話しています。積極的に授業に参加できる環境だと感じているようです。

○とても楽しい授業で、毎回喜んで帰って来ます。

○ペアになって英語を話す機会があるとのこと、英語の実用的な訓練ができると申しています。

■ペア、あるいは3人でのテーマ別英会話は、実際に話すよい訓練ですので、ぜひ、活用してください。
なお、2020年からは、大学入試で会話力も問うとのこと。

○楽しいそうです。

○特に話がないようです……。不満はないようです。

○さまざまな教材があって面白い。

○とても分かりやすい発音で、楽しい授業だと言っていました。

○2年間 Ross 先生にお世話になり、今年から Mark 先生になりましたが、特別不満も言っていないので、満足しているのだと思います。

○何もありません(聞いていません)。

○リスニングの力が上がっているそうです。

■良い報告をありがとうございます。

○新しい先生に替りましたが、楽しい時間を過ごしているようです。クラスメイトの子たちとの交流で、とても刺激を受けるようです。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

■中3DクラスのNative Partでは、英語でのGameも取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気で、「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、「多読」ということで、1分、3分、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習を取り入れました。普段の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writingということで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうことも行います。また、短いVideoを観て解説・討論したり、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法を導入し、生徒と先生で、奇妙で楽しいそのクラスだけのOriginal Storyを作るという授業も取り入れています。

○楽しい。学校の授業は「死んだ英語」のようにつまらないが、Ferghal先生の英語は「生きた英語」だと思う。

○楽しいと聞いています。

○会話の練習を通して、他校の生徒さんとの交流があり、楽しんでいます。

○楽しい！分かりやすい！Good job!と話しています。

○繰り返しの学習が助かっています。

○詳しい話はあまり聞けないのですが、楽しいとは言っております。英語力が上がっている、と実感できるところまで行っていないのかもしれないので、英語ができるようになって、と本人が思えると良いのですが、もう少し時間がかかるでしょうか。

■はい。中3の秋にはかなりの実感があると思います。

○動画について、英語で解説してくれることが面白い。

○ネイティブの先生の口癖を真似しています。楽しく授業を受けているようです。

○面白い先生で楽しいと言っています。

○少しでも頑張って話すと、なんとか通じるのが嬉しい。

○大変楽しく参加させていただいております。宿題プリントもスムーズに解答できているようですので、理解度も上がっているように思います。

○実際に海外の先生と話をすることができて良いと思う。

○とても楽しいと話し、ハマっています。ネイティブの先生と目の前で緊張することなく話ができるようになったと喜んでいます。

○とても楽しいと話しております。

○だいぶ慣れてきたようで、面白いけれど難しい、といったようなことを言っていました。

○塾で話がでた話題などを話しています。

○全て英語で進めるため、力がつく気がする。

○挨拶以外の会話が出来るととても嬉しそうに報告してくれます。

○しどろもどろでも何とか返答し通じるとモチベーションも高まるようなので、ぜひ個々に対話する回数を増やしていただきたいと思います。

○聞いても何も話をしてくれません。

■中3男子では普通のことかと思います。授業中の様子は保護者会の個別会でお話させていただきます。

○面白く楽しい。コミュニケーション能力がつく気がする。

○学校とは違う。積極的に参加、発音している。

○新しい word をピックアップしてくださるので分かりやすいそうです。

○先生が面白くて楽しく、分かりやすいです。

○特に話は出ません。英語に興味があるのか、むしろ心配です。

■中3男子では普通のことかと思います。授業中の様子は保護者会の個別会でお話させていただきます。

○楽しく学べている。

○学校のネイティブの先生より、話しやすく、分かりやすい。

○何回か振替で他曜日の授業を受けたところ、曜日により授業の内容に難しい、やさしい、が(本人の感じるところで)あるようで、そのことについて話しました。親としては少し難しい内容に対して頑張っていく！ぐらいが良いと思っています。

○楽しいです。先生のおっしゃることが理解できて来ています。

○始めたところですが、すごく楽しいようです。やはり学んだ英語を使う、発するにはまずは楽しいと思うことが大切だと思うのでありがたいです。

○ネイティブの先生と会話することで、聴く力、話す力がついて良いと思う。文法をやらないのを疑問に思う。

■文法は規則を教えても身につけません。重要な文法事項は、年に何度もでてきて、自然に身につくようカリキュラムを構成しています。

○詳細は不明ですが、ゲームのようなことをして楽しかった等、学校での学びとは異なるものを感じているようです。

○先生と雑談もできるようになってきてとても楽しい。分からない言葉が出てきても、別の言い回しができるようになってきた。

○とても楽しく、笑いありで、時間がすぐ経ってしまう。

○Nick 先生は、とてもしっかりとされている先生と言っていました。

○話したり聴いたり、将来の大学受験にも役立ちます。

○まず、ネイティブの先生がジョークを交えた話で面白く授業が進んでいく。テーマを与えられ、チームで話を作っていく過程が面白い。

■チームで話をつくる手法は、TPRS といい、現在、海外ではかなり流行している方法ですが、まだ、日本で取り入れている所は非常に少ないのが現状です。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

■中3Cクラスでは、「読む・聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、今年からは、「多書」ということで、1分、3分、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習を取り入れました。まだ、語彙が少ない生徒さん、会話に慣れていない生徒さんも多いので、先生は平易な英語で、ややゆっくりと話す、あるいは、同じ内容をいろいろな言い方をして理解してもらうよう工夫しています。また、普段の授業では、英語でのGameも取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気の中で授業をするとともに、文法事項についても、適宜復習するようにしています。また、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法を導入し、生徒と先生で、奇妙で楽しいStoryを作るという授業も取り入れています。

○文法はやっているかいないかよく分からない。先生によって楽しいクラスもある。上のクラスに行ったらたくさん発言したい。

○楽しいと言っています。

○毎回、楽しく受講させていただいています。

○Mark 先生は面白い先生と言っていました。

○楽しい。

○授業のテンポがいいので楽しい。

○とても楽しく通っている。

○先生が熱心に向き合っていただけるので、本人も言い回しを工夫して何とか伝えようと考えているようです。とても気に入っています。

○チームで話し合うのが楽しい。

○ミニゲームなどやってくれて面白い、と言っております。

○理解できているとのことでした。

○中 1 の頃にお世話になったことがある先生が、自分の名前を憶えていてくれたことが嬉しかったような話をしていました。

○授業は楽しいと言っています。

○たまに英語がでなくて困る時もあるようですが、お友達に助けられて楽しく通っています。

○Jeremy 先生の、クラス全員で一緒に物語を作る授業がとても良いと言っております。

○みんなで作るストーリーを楽しそうに話してくれます。アニメも好きで、家でも英語で観るようになりました。

○うるさい人がいるので、先生はもっと注意して欲しい。

■申し訳ありません。必要に応じて厳しく注意するようにします。また、必要ならば事務スタッフが入室し、注意します。

○学校と一味違った授業で、有意義に受講しているとのことでした。

○「面白い。楽しい。」と本人が話してくれます。

○初めは少し緊張していたが、すぐに楽しくなったと話しております。

○とても良いと言っております。

○ゲームが楽しい。毎日通いたいそうです。

○英語で会話するのが楽しい。

Q3 保護者の方が通常の英語塾ではなく、多読の授業をお選びになった理由は为什么呢？

◇中3多読Eクラスのアンケートから

- 勉強というよりもかく楽しく英語に接してほしかったので、読書好きの娘にとっては良いのでは？と思って通塾させています。
- 受験のためだけの英語ではなく、使える英語を身につけて欲しい。
- 多読は言語を学ぶだけではなく、楽しみながらいろいろな思想や文化に触れることができるため。
- 実際に生活や仕事で使える英語を身につけさせたかったから。
- 受験のためだけではなく、その先でも使える英語を身につけてほしいと思ったから。
- ただ単語や文法のための授業では楽しくないであろうと思い、また、将来、英語の本や英字新聞を読めるようになることは有益であると考えて選びました。正直、初めのうちは心配も少しありましたが、本人が楽しんでいるので、良かったと思っています。
- これからの受験形式が長文読解中心になると思われるため。
- テストで点を取るための勉強ではなく、英語を身につけてほしいから。
- 大学まで続いている学校なので、受験のための英語ではなく、実際に使える英語を身につけてほしいと考えたから。
- 受験英語ではない英語力をつけてほしいと考えたから。
- 将来的により多くの英文書籍の長文に接する機会を持った方が良いと思い、多読に特化した SEG の授業を選びました。
- 英語で本を読むことができる、また、ネイティブパートとセットになっている点。
- 元々本が好きだったこともあり、たくさん本を英語で読めるという点がかなり重要なポイントです。日々の積み重ねがいつしか英語文をスラスラと読める実力へとつながり、楽しみながら力がつくということも素晴らしいと思います。
- 受験英語の読解ではなく、英文から必要な情報を得て、将来大学で英文論文を読んだりディスカッションする力をつけて欲しいと思ったから。
- 外国語の勉強は多読が王道と思っている。
- 幼少期よりやっていた方法が多読的なものだったので。
- 英語の読解力、速読力の UP を期待して選びました。

- 受験のためだけでなく、一生使える英語が身についたらと思って選びました。
- 受験勉強ではなく、英語を身につけてほしいから。
- 実際に使える英語を学んでほしいからです。
- 英語を教科学習としてではなく、ツールとして使うという学習の方が本人に合っていると思った。
- 楽しみながら自然に英語が身につけられそうに思ったから。また、日本語の本を読むように英語の本も読めるようになってほしいと思ったから。
- 英語に多く接することが重要だと考えているため。
- より多く、より楽しく、生の英語に触れて欲しいと思ったため。
- 外国の方とのコミュニケーションや英語長文に怖れを抱かぬうちに慣れて欲しいと思ったため。
- 「学校+通常の英語塾」の授業ではカバー出来ないであろう効果を期待しています。
- 使える英語力を身につけさせたかったこと。少人数でネイティブの授業を受けられること。
- 勉強としてではなく言語として親しんでもらいたかったから。
- 子どもが読書好きなので、合っているのではないかと思ったことと、ネイティブパートで双方向の授業を取り入れていることに魅力を感じました。
- 高校受験はないので、楽しく英語に触れられるものを、と考えました。また、英語で有名なH塾の体験をしたのですが、本人的に合わないと言っていたこともあります。
- 大学入試が長文化しているので、中学生のうちからリーディングに慣れてもらいたいため。ネイティブパートでは、リスニングやスピーキングの強化につながればと思っています。
- 英語を日本語のように読み書きできる力をつけさせたいからです。
- 英語にたくさん触れてほしい。読書を通じて豊かな心を育ててほしいと考えるからです。
- 長女が多読で英語の力を伸ばしていただいたため。**
- 多読で楽しんで英語に親しんでほしいと思ったからです。
- 大学受験が変化することに対応できる能力を身につけてほしい。社会人になっても苦手意識を持つことなく、英語を使って強みにしてほしいため。
- 文法ばかりの授業よりも、多読で、長文を読めるようになってほしいと思ったので、英語多読を選びました。

○受験勉強としての英語ではなく、社会に出てから本当に使える生きた英語を身につけてほしいと願ったから。勉強としての英語ではなく言語として楽しみながら身につけてほしいと思ったから。

○長文(論文)に拒否反応が出ないよう(将来、仕事などで役立つよう)。

○英語を楽しく学んでほしいと思ったから。使える英語を身につけてほしいため。

○英語が嫌いではなく、少し得意だと思っていると感じたことと、読書(日本語)が好きなこと、コツコツ勉強するのを嫌がることより、好きな読書で英語力をつけられ自信につながればという気持ちで選択しました。

○読書好きの息子にぴったりの学習法だと思い、また、たくさんの本に囲まれた環境がとても魅力的でした。毎回、いろいろな本を借りられるのをとても喜んでいきます。

○長文読解が楽にできるようになると聞いて……。

○数学を受けたので、同じ塾がいいと思った。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

○娘はもともと読書が好きだったので、洋書にも興味を持てるようになったら良いと思ったから。

○語彙力を伸ばしたいと考えたからです。

○マニュアルと記憶力に頼ってでは、これからの大学入試や就職活動には太刀打ちできないと思ったからです。

○カラフルな英語の本に囲まれて、ネイティブの先生と自然に楽しい時間を過ごせたら英語嫌いにならないと思い、通わせていただいています。学校でも、英検に加え GTEC も受験するようになり、SEG の強みを感じています。

○本人の希望。

○多読は効率的な勉強だと考えたため。

○単に大学受験のための文法などを学ぶような塾だと、英語が楽しく感じられないのでは、と思い、多読やネイティブの授業のある SEG に興味を持ちました。ネイティブの英語は、英語で英語を学ぶスタイルかと思っているので(それでイメージあってますでしょうか)、そこも魅力かと思っています。

■はい。Native の授業も、Comprehensive Input 理論に基づいて、英語で英語を学ぶスタイルです。

○受験のためではなく、社会にでてから使える英語を身につけてほしいと思ったからです。

○長文の読解力を身につけて英語をもっと好きになってほしいとの理由でした。

○英語を楽しんでほしかったから。

- 自分が苦手意識が強かったので、楽しみながら学んでほしいと思ったので、入塾させていただきました。
- 学校の授業のみで文法は身につくと思ったが、英文を読む機会は多い方が良いと思ったため。
- 学校の授業などとは関係なく、英語を楽しく勉強してほしいと思い、また、読書が好きなのでちょうど良いのでは、と考えました。
- 子供が楽しくないと続けられない性格なのと、自分も多読多聴で力がついた実感があるから。
- 将来を見据え、長文読解力が大学受験に役立つと思いました。分からない単語があっても、前後から判断していく力が大切であると考え、貴塾を選ばせていただきました。
- 説明会に参加してみて、子どもが興味を持ったので。
- 附属の学校なので、本人の希望も含め、この SEG の多読をやりたいと始めました。また、大学生講師に私の友人の息子さんがおり、スズメもあったため。
- 楽しく多読することによって、真の英語力をつけていけるため。
- 英語を勉強ではなく言葉としてとらえてほしかったからです。小学生ぐらいから始められると、もっと効果的なものかもしれないなと思いました。
- 多読は、ある程度文法と共に学んだ方が効果的なので、中学生は多読の開始時期として適切だと考えています。
- 英語に多くの時間接することができるため。
- 中高一貫校向けの塾は個別指導が多く、ライバルがいる集団塾に通わせなかったため。
- 学校で多読を取り入れている。受講している生徒さんの評判を見て。実施時間が通塾可能な時間帯のため。
- 長い目で見た時、きっと SEG での多読は大学受験のためだけでなく、社会に出た時にも役立つ英語力を育ててくれると考えたから。
- 「勉強」ではなく「言葉」として楽しく学んで欲しいと思ったので。
- 文法が苦手なので英語塾に通わせたいのですが、息子が SEG は宿題もなくて楽だから他の英語塾には行きたくないと言っているため。
- 文法ドリルのような宿題はありませんが、読書の宿題や Writing、授業のテーマに沿ったプリントなどの宿題はあります！
- 長文を読む力やヒヤリング力、コミュニケーション力がつくと思うから。
- 受験だけではなく、将来に活かせる英語力を身につけさせたい。

○英語を辛い修行のように勉強するのではなく、道具として使いこなせるようになって欲しかったから。ネイティブパートを楽しんで、外国人と会話することに慣れて欲しかったから。

○娘が本好きなので、英語の本も好きになり、英語の勉強も前向きに取り組んでほしいと思ったので。

○きっかけは ORT をわたし(母親)が気に入っていたから。

○理念が気に入ったので。あと、子ども自身も授業を気に入って通塾できたため。

○以前から多読に興味を持っていたため。

○文法等つめこみではないこと。読書が好きなので、英語で読めるようになれば、興味がわくと思った。

○英語の勉強は学校でもやっていることですので、違う角度から英語に触れて身につけてほしいと思いました。

○友人のお嬢さんが通っているために、前もって色々授業について説明してもらいました。日本で英語を勉強するうえで、とても良いと感じました。

○文法など、学校で進める学校の英語教育と並行的に多読の力をつけたいと思ったためです。

○通常の英語塾にも行っていますが、多読のクラスは英語を読む力を伸ばすうえでとても有意義だと思い、本人も気に入ったので通っています。英語の蔵書が質、量ともに充実している様子が伺え、システムとしても素晴らしいと思います。

○英語を楽しみながら学べると感じたから。また、英語を受験のためだけでなく、将来にわたって見聞を広げるための手段やコミュニケーションツールとしていってほしいから。

○たくさん英語の本やネイティブの先生とのかかわりを持って、英語に慣れてほしいと思ったから。

○色々な勉強法を考えましたが、聴くこと読むことが自然に身についていく授業に魅力を感じました。何が重要か、を知っているからこそその授業内容だと思っています。

○日本語から学ぶ英語ではなく、より生の英語を楽しみながら学べるから。本が好きな子だから。

○大学受験の出題は長いし量が多い方向へ変わるから。

○英文に慣れ親しむ、英語を英語のまま読み進める、辞書を使わずに推測しながらストーリーをつかむ。これらの理由から多読の授業を選びました。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

○自分の留学経験から、一番英語が身についたのは大学時代の課題図書と多読した時と感じているから。単語単体ではなく文章を身につけてほしい。日本語との1対1対応ではなく、英語の類義語との関係を感じて身につけてほしい。

- 宿題が多くないので無理せず通えると思ったから。本を読むのが好きな息子に向いていると思ったから。
- 楽しく学べて、それほど宿題等の負担がないため、効率的な習得が出来そうだと考えたため。
- 英語を自然に楽しく学ばせたいと思ったからです。
- とにかく嫌いな英語ですが、読書は大好きなので、英語で本を読むことで少しでも楽しみを見出してくれたり、英語に触れる機会があればと思い、入塾させていただきました。
- 英文に慣れて長文読解に苦手意識を持たないように学んでほしいため。宿題が少なく、学校の勉強にリンクしていなくても継続しやすそうであるため。
- 学校で習う以外の方法で英語で学んでほしかったのと、本人が興味を持ったため。
- 本人が感覚的にものごとをとらえるほうなので、その方が合っていると思って。
- 入試では長文読解力を試す傾向が増えていると説明会で聞いたので。五感を使って学ぶことで役に立つ英語が身につくと考えたため。
- 学校の授業だけではない英語に接する機会を持たせたかったから。
- 英語が楽しみながら自然と得意科目になったら、と思いました。
- 本人が本を読むのが好きだったので、好きなことで英語に触れてほしいと思いました。
- 兄（大学2年生）が中1より通わせていただいて、大学受験に効果的だったのはもちろんのこと、環境も良く、広い意味で英語のスキルが身についたので。
- 講義形式の授業スタイルではなかったため。
- 数学もとっていて、ネイティブの先生の授業も一緒にとれるから。
- 生きた英語を学び、洋書、英字新聞等を読んで、より多くの知識や情報、人脈を得て、世界を広げるために。
- 学校とは違う英語のアプローチをさせたかったからです。ネイティブが英語を身につけるのに近い環境はないかと探し、たどり着きました。ネイティブパートがあるとは思っておらず、得した気分です。
- 他の塾のやり方が合っていなかったから。
- 真の英語力育成を期待して。
- 文法主体の授業よりもむしろ文章を多く読ませたいと考え、SEG を選択しました。
- 英語が苦手なのですが、レベルに合わせて読むことはあまり抵抗感なく取り組めそうだったからです。

○中学生の今は、大学受験のためだけに文法などを詰め込むような授業よりも、英語を英語のまま読んで理解する力や、コミュニケーション力をつけることの方が大切ではないかと思ったからです(英語を嫌いになってほしくないと思います)。

○英語を始めたのが中学に入ってからのため、リスニングに苦手意識があるので。

○中高一貫なので、受験のための文法中心ではなく楽しく英語を勉強できればと思いました。

○通常の英語塾ではない、SEG のような授業形態を望んでいたため。

◇多読多聴 R クラスのアンケートから

○将来英文を読み続けるうえでの基礎を作りたいから。

○図書館のように英語の本を読むことができるので。

○学校の授業で文法などの面は学習しているので、英語を受験のためだけではなく自然と目や耳にすることで慣れてほしいと思うから。英語が使われている情報はネットでもテレビでも日本語のそれよりもはるかに広がっているから、そういうものにも自然に興味を持てれば良いと思います。

Q4 大学受験に向けて、今後、SEGの英語多読クラスに対する要望や気になる点・ご質問等がございましたら、お知らせください

◇中3多読 E クラスのアンケートから

○自分の興味のある本のみを読んでいると物語ばかりに偏り、修得できる単語の分野も偏るので、ある程度英語を読むことに慣れてきたら、新聞やコラムなどの時事問題、科学や歴史、政治経済などを扱った文章を読む機会も作っていただけると嬉しいです。

■時事問題などの本を読むのは、高2 になってからでも十分だと思っています。児童書のみでも、かなり幅広い語彙を学ぶことができることが経験的に分かっています。もちろん、ノンフィクションのやさしめの本も多数ありますので、生徒さんの興味に合わせてできるだけ色々なものを薦めさせていただきます。

○新しい入試制度で必要となるスキル、資格などの情報を提示していただけるとありがたいです。

■TOEFL, IELTS 等の Speaking, Writing のスコアが必要となります。

○高校受験する受講生の場合、どのタイミングで一時休塾にしたら良いか？親子共々悩み中です。

■余裕のあるうちは、ぜひ、多読を継続ください。他の教科の学習で余裕が無くなってきた場合には、どうぞ、遠慮なく休会ください。

○まずは、英語学習に親しみ、苦手にならないよう習熟度に合わせたご指導をよろしくお願い致します。

○英検 2 級から準 1 級が遠く、何か目標にしづらいのか、最近英語から遠のいているような気がします(英検アプリ、スタディギアは続きましたが、準 1 級はないので、今は何もしていません)。今まで、子ども時代からの貯金でやってきたようなもので、「自然と身についた」ことがかえってあだになっているというか……。英語を勉強するという意識が無いならないで、もっと本も読んでほしいです。

○読んでいる量が少ないようでしたら、厳しくご指導ください。

○在学している学校は、受験指導がありません(系列の大学への進学を前提としているため)。そのため、文法事項を教えてもらえないことがとても心配です。他塾にいずれ変わるようなことになればよいと思っています。

○文法事項を学んでいないようなことがやや心配です。季節講習をとるようにしていますが、ネイティブパートを充実していただくことができればありがたいです。

○多読で Reading、Listening については満足しております。文法や英単語など、コツコツ積み上げる学習が苦手であり、自発的な努力ではそこが穴になりそうなので、そういった点でもフォローしていただけるとありがたいです(本来の目的とはやや外れてしまい恐縮です)。

○最近、「ブラック・ジャック」、「仁」、「神様のカルテ」などの本や医療ドラマにハマっており、自分の進路についても医薬系を考えているようなので、そのようなジャンルの洋書があれば、多読に取り入れていただけると嬉しいです。

○4 技能をバランスよく伸ばしていきたい。この調子で、英語が好きで、活用できるようになってほしいです。

○多読パートで文法を少し取り入れてくださっているそうで、ありがたいです。ネイティブパートでは、せっかく少数人数なので、生の英語をどんどん浴びせてキャッチボールしてほしいです。

○入試に外部試験を取り入れる学校が益々増えると思いますが、試験スケジュールにあわせて、これらの対策は行っていただけるでしょうか。特にライティング、スピーキングは自力では難しいと思いますので気になっています。

■高 3 向けに、TOEFL 講座は開講予定ですが、SEG の英語は、資格試験の予備校ではありませんので、特に、個別の試験対策を行なう予定は今のところありません。高校部の授業では、かなりの量を話す・書いてもらいますので、授業に積極的に参加していただければ、TOEFL 等の試験でも相当のスコアは取れています。

○3 年生になってから、多読パートで文法のプリントを実施していただいているようです。学校で行う単元テストとは違った視点で理解度合が分かり、苦手な文法強化の一助となっています。

○補講で文法をたまにやっていただいているようですが、それをもっと多く行っていただけると助かります。

○もう少し文法が目に見える形だと安心です。

○大学受験に向けて長文を早く読めるようになってほしい。あと宿題で渡された本を家で全く読まないの、親が言っても聞かないので、先生から宿題の本をきちんと読むように言ってほしい。

○平素よりお世話になっております。遠方にて、継続するか迷っていますが、よろしくお願いします(夏休みはホームステイで、夏期講習は不参加です)。

■夏期に英語圏でキャンプやセミナーに参加される場合、そちらを優先していただいてかまいません。長期海外滞在がないような場合には、夏期講習にも出来る限り参加ください。英語から2ヶ月間離れると読書力はかなり落ちてしまいます。

○先輩の受験体験談など、生の声を子どもたちが直接聞ける機会があるといいなと思います。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

○センター試験の廃止に伴い、どのような対応が必要となるのでしょうか。情報が錯綜しており、不安を覚えています。カリキュラムや授業内容などに、変更をご検討されていることがありましたら教えてください。

■当初より、センター試験の改革を見据えたカリキュラムになっておりますので、SEGの授業内容に変更を検討している点はありません。

○全体的に弱いのですが、特に **Speaking** の力が伸びるといいなと思っています。夏休みは学校で推奨されている **English Camp** に参加予定です。また、学校で最近始まったプログラミング講座(Make School)を受講するにも英検の級が必要なので、そういう力がつくといいなと思っています。

○GTEC for STUDENTS でリーディングが一番成績が良くなかったので、結果が出ずに残念でした。

○2020年度の大学入試の変化がとても気になります。センターに代わる英語の試験が廃止になり、外部試験の利用に変わるという話が出ています(6月頃に決定されるのですか?)。国立2次試験や私大の個別試験も変わっていくのか、など未知の部分が多く、受験生はどう対策すべきか親として悩ましいです。塾として受験向けの説明会や保護者会などはあまりないようですが(高校になるとないのでしょうか?)、大きな変化のある学年なので、受験情報の発信もしていただけると、とても有難いです。

○英検2級を受けた際、英作文がほとんど書けませんでした。SEGの対策講座も受けましたが進歩なしで、結局試験の二週間前からの自宅特訓で間に合わせました。今後、授業で英作の添削は含まれてくるのでしょうか?

■授業の一環の **Creative Writing** では、英作の添削をさせていただきますが、それだけでは、量が足りないと思います。

普段から英文で3行でも4行でも、日記を書くなど、英語で書くことを習慣づけることが良いです。また、全く文章が書けないという場合には、「話すための瞬間英作文」(森沢洋介)の英文を暗記する位、口頭で繰り返すのも効果的です。3単現のs、時制の一致、単数・複数の選択、冠詞の選択などの文法ミスは、たくさん書いているうちに、8割は自分で訂正できるようになります。

○高橋先生、James先生、その他季節講習で担当していただいた先生方に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

○現在の中3から受験方式が変わるので、英語は英検2次対策なども実施してほしい。

■普通にNativeの授業に積極的に参加し、普段から発言していただければ、特に対策をしなくても、大丈夫です。
英検準2級、2級には、みなさんほぼ1回で合格しています。準1級、1級はそういうわけにはいきませんが、準1級、1級の2次対策は、付け焼き刃ではダメで、普段から、英文で長めの日記を書いたりして、英語で書くことを習慣づける必要があります。

○自ら進んで学習するタイプではないため、ぐいぐい引っ張っていただけたら幸いです。

○年頃のせいかわ、SEGのことも含めあまり語らず、何をやっているのか、どんな状況かも分かりません。親が口出しすると逆効果になることもあるので、しっかりやってくれるよう、SEGの方でご指導いただければ助かります。

■中3男子では、親に何も話さない方は珍しくありません。しかし、うっとうしがられても、時々声がけは続けた方が良いでしょう。様子については、個別会で担当の先生からお話しさせていただきます。

○慣れてしまったせいかわ、家で本を見ながらCDを聴くことをしなくなりました。学校の英語の成績も悪いので、このままSEGを続けていって良いものか、悩んでいます。

■CDを聴かなくても、本をキチンと読んでいけば問題ありません。ただ、時々音読をすると良いですね。こちらからも、声をかけてみるようにします。

○高校受験を予定しているが、できるだけ続けたいと思っているので、今後ともよろしくお願いします。

■高校受験でも、長文読解には、多読で培った力が役立ちます。できる限り、最後まで続けてください。私達も応援します。

○新しい入試制度一年目に大学受験になるので、どのような入試になりそうか情報収集して、対策講座を作ってほしいです。

■文部省のホームページ、新聞報道、文部省の審議会の関係者によれば、外部試験(TOEFL, IELTS, Cambridge 英検, 英検など)を利用して、Speaking, Writingの試験を必須で課す方向のようです。新課程の入試情報については、大手予備校・河合塾からも情報提供を受けていますが、いまのところ、それ以上の情報はありません。日本の現状を考えると、外部試験で要求されるスコアは最終的にはかなり低くなる可能性が高いです。SEGの多読+Nativeクラスは、Speaking、Writingを重視していますので、特別な対策をとらなくても普段のNativeの授業に積極的に参加していれば、十分にクリアできます。

なお、現状の筑駒・筑附・学芸大・都立日比谷などを含む、国公立高の読む・聞くの英語力の調査(文部科学省)とSEGの高2生のTOEFL(ITP)の結果は下記の表の様になっています。

日本の高3生の英語力

	読む	聞く
B2以上	0.2%	0.3%
B1	2.6%	2.7%
A2	30.8%	25.0%
A1以下	66.4%	71.9%

CEFR 調査 (2015文科省)
国公立校8万人の調査結果

SEG高2生の英語力

	読む	聞く
C1以上	1.5%	1.5%
B2	8.5%	32.3%
B1	52.3%	54.6%
A2	37.7%	10.8%
A1以下	0.0%	0.8%

SEG(2016) 高2FG
TOEFL ITP試験

○準2級を受けるため、準備をしていますが、3級と違って、抽象的な単語が増えて、覚えられずに苦労しています。そもそも連語を覚えるという習慣がついていません。進みが遅いのは本人のやる気の問題なのですが、絵本などをただ読んでいてだけで、これから大丈夫なのかな？とちょっと不安です。

■中学3年生で、Geronimo Stiltonなどのアメリカの小学生向けの児童書を読んでいるだけで、TOEFLで80点上取っている受講生の方もいます。英検準1級、TOEFL 80点、TOEIC 800点までは、特別に単語帳などを覚えずに、クリア可能です。年間100万語以上のペースで、児童書やGraded Readersを高い理解度で読んでいただければ、抽象的な単語を無理に覚えなくても、十分に準2級・2級は合格できます。

○この3月から始めたばかりですので、もう少し終わって伺いたいことがあるときに……と思います。

■いつでも、個別相談も受け付けていますので、その際には受付までお申し出ください。

○高校生になり、他の教科の学習も忙しくなっていくた時に、多読のクラスを取り続ける余裕があるか、心配です。

■高校生になり、厚い洋書を読めるようになれば、また、自分の興味ある本を読めるようになれば、多読はスキマ時間を活用してできます。高3になり、理系科目に集中するために、多読クラスを休止される方もいますが、最後まで、楽しく続ける方もたくさんいます。なお、数学さえ高2までに十分にできるようになれば、理科は、高3からでも大丈夫です。数学がそこまでできる自信の無い方は、化学は、高1から、物理・生物は高2からの学習をお勧めします。

○入塾前は英語に苦手意識を持ちかけていた娘ですが、5ヶ月目に入って、留学(短期)にも関心を示すほどになり、驚いています。楽しみながら学ばせていただき、感謝しております。

■英語学習は苦しいものではなく、楽しくできるものです。これからも、楽しく、でも、しっかりと続けてください。

○大学受験が変わると言われている年に受験を迎えるために何が一番良いのか(必要なのか)、心配しています。うちの子は現代文が苦手ですが、速読講習はそんな子にも役に立ちますか？もうすぐ申込なので、教えていただけると幸いです。

■中3から、英語を話す・書くことも積極的に行っていけば、英語の試験がどう変わっても大丈夫です。**速読講習は、現代文の授業ではなく、本を速く読むスキルを身につけ、実際にたくさんの本を読む講座です。この講座に参加して、実際に読書速度が上がったという人も多数いますが、それ以上に、普段読まないタイプの本を読んで、よい刺激になったという方が圧倒的です。読む本の幅を広げる良いチャンスになる講座ですので、ぜひ、受講を検討ください。**

○SEGのテストや学校での外部模試などではヒアリングが速くて聞き取れないと言っています。聴く量が少ないのでしょうか……？何かアドバイスをお願いします。

■リスニング力を上げるには、たくさん聴くしかありません。SEG多読教室の本の相当数には朗読CDが用意されているので、聴きながら読むのも良い方法ですし、ラジオドラマ(例えばチャロ)をCDで聴き、内容を楽しむのも効果的です。

○高校受験があるので、夏に入る手前でいったん休会をしたいと思います。受験が終わり次第、再開を望んでいますが、その手続きをどのようにしたら良いか、教えていただけると助かります。また、再開後の様子なども合わせて教えてください。

■高校受験が終わるのが、どうしても、2月中旬以降になってしまいますので、3月の春期講習からの再開という形になります。普通に春期講習を申込され(早目の申込が安全です)、春期講習の試験で、4月からのクラスが決まります。春期講習以前にクラスを決定されたい場合には、受験終了後、3月初旬の入会試験を受験ください。

○英検や GTEC のライティング対応が可能な市販の参考書、問題集のご紹介とその勉強の仕方を教えてください。
ライティングの勉強方法を具体的にご教示いただけるとありがたいです。

■市販の問題集でお勧めのものは、

(1)「英検分野別ターゲット英検 1 級英作文問題」(旺文社)

でしょうか。例文を覚えるのに適切な参考書ですと、

(2)「ALL in ONE」(高山英士)

(3)「どんどん話すための瞬間英作文トレーニング」(森沢洋介)

などが定評があります。例文を覚えるのは、英作文の基礎を作るのに良い方法ですが、普段から書くことに慣れるのが、英検や GTEC のライティング対策としては一番だと思います。毎日、3 行から 5 行位でいいので、英文日記をつけることをお勧めします。facebook に英語で投稿するような習慣をつけるのも良いです。自分で文章を書いているうちに、文法ミスはどんどん少なくなっていくと思います。

きちんとした Essay の書き方については、SEG でも、高1以上の上位クラスでは行っていますし、(1)を利用して、やはりたくさんの Essay を書いてみるのがお勧めです。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

○受験英語を目的としている訳ではないが、SEG は中学クラスも受験を視野に入れた学習を考えていると思うので、どういったことが今後の大学受験に求められる英語力に効果があるのか、具体的に知りたい。

■入学試験でも、東大の推薦入試、京大の特色入試等で、英語の口頭試問をするところが増えていきます。Native の授業で培う Listening 力、Speaking 力は入試でも必要な時代になってきます。また、多読が長文読解に役立つのは言うまでもありません。

○受験英語もやりたいと思っています。文法が苦手で、そちらも勉強できると助かります。

■高2になるまでお待ち下さい。

○大学受験に向けて、書くことや問題を解く力などは、どのように学習すれば良いのでしょうか。また、文法や構文などの学習をするための参考になる本などがあれば、教えてほしいです。

■例えば、東大の Writing は基礎的な英文法だけを知っているだけで十分に作文できます。ですので、過去問を素材に、実際に書く演習をするのがよいでしょう。問題を解く力は、問題文・設問文をしっかり読むことにつきます。そのコツなどは、高3の授業で行います。例えば、東大入試の攻略本としては、「東大英語の核心」(関正生、研究社)などを読まれるとよいかもしれません。

○学期末に行うクラス分けテストの内容は、授業とは関係なく前回の様に ACE を受けるのでしょうか？

又は数学の様にテキストの範囲などがあるのでしょうか？

■英語では、すべての試験は、授業内容とは独立な問題が出題されます。

○単語と文法力をつけるために(あまり苦勞を伴わずに)効果的な学習法はありますか？(多読の補完として)

■英文日記とかはどうでしょうか？ 一日 2 行でも、3 行でも構いません。Output することで、単語の綴りを覚え、また、自分で書いた文を自分でチェックするだけでも、文法的により正確な英文を書けるようになっていきます。

○文法を日本人の先生にも少し教えてもらえるととてもありがたい。進級テストの対策をしてもらえると助かります。

■講習時に文法の授業を行っていますので、それを受講ください。普段の授業では、系統的に文法を取り扱うことは多読授業の性質上行っていませんが、自習用教材をやってくる生徒さんの質問には、休み時間等を利用して答えさせていただいています。

中3生用の基礎文法の確認の問題集としては、「くもんの中学基礎がため 100%中3 英語 文法編」がお勧めです。この程度で、中高一貫校の進級テストや公立高校の入試には十分対応できると思います。

○学校の定期試験直前に SEG の授業があるが、休まざるを得ず、何とかならないかと思ひます。

■学校の定期試験は、時期が学校によって異なるため、一斉に SEG を休講にできません。中学の定期試験は出題内容が決まっていますので、定期試験対策は直前にやられるのではなく、普段からやるようにして、塾にも普通にこられるような対策をとられることをお勧めします。

○現状のレベルで(学校での成績踏まえ)、このまま多読を続けるべきか、普通の英語塾で勉強させるか迷っている。多読の生徒は高校生まで続ける人は何割くらいなのか。

■中3(2学期)→高1(1学期)で、78.6%の方が、多読を続けています。残りの、21.4%のうち約2割は留学で多読を休会しており、約2割は英語は自学に切り替え、残りの6割(全体の12.8%)が文法中心の塾に移られていると推定されます。

○遅刻ばかりしてすみません。携帯で出欠がはっきり分かるのがいいです。それでさぼったりしたこと(後で)分かったのだ。

■出欠は MyPage で翌々日以降、確認ができます。

○どのようなことを意識して授業に出れば良いでしょうか。授業以外に普段の学習においては、何をするのが効果的でしょうか。

■Native の授業では、(1)先生の英語に耳を傾ける (2)英語で考える (3)積極的に英語で発言することです。

多読の授業では、(1)自分の理解度を先生に伝える (2)自分の好みを先生に伝える (3)しっかり読み、疑問点があれば先生に質問する ですね。

課外ですが、まず、(1) 多読する (2) できれば、CD も聴く、音読も時々する (3) 学校の英語の授業も真剣に聴く ことでしょう。

○自宅学習の仕方がなかなか定まらず模索していますが、本人は自分で頑張るとのことですので、見守りたいと思います。

■多読の宿題をまずは、しっかりやってください。もし、文法に不安があり、学校でやっていない、あるいは学校でやっていることがレベルが高すぎてよく分からないのであれば、「くもんの中学基礎がため 100%中3 英語 文法編」を自習してください。

○文法もできたらやっていただきたいです。

■授業時間の制約上、普段の授業では文法をする時間がほとんどとれません。講習で文法講座を行っていますので、講習で受講ください。もし、文法に不安があり、学校でやっていない、あるいは学校でやっていることがレベルが高すぎてよく分からないのであれば、「くもんの中学基礎がため 100%中3 英語 文法編」を自習してください。

○クラス分けテストでは、特にリスニング分野が平均点を大きく下回っていました。学校での英語の成績は悪くはありません。リスニング力を伸ばすには、どのような学習をすれば良いのでしょうか？

■リスニング力を上げるには、たくさん聴くしかありません。SEG 多読教室の本の相当数には朗読CDが用意されているので、聴きながら読むのも良い方法ですし、ラジオドラマ(例えばチャロ)を CD で聴き、内容を楽しむのも効果的です。

○Writing の時間をもっと増やしてほしい。

■高学年・上位クラスほど、Writing の比率は高くなります。まずは、Speaking の力をつけるため、Speaking の時間を長くとしています。

○保護者の授業見学を設けていただきたく思います。自分の子が授業でどの程度理解できているのか等を参考にし、今後の勉強にも活かしたいです。よろしくお願いします。

■保護者の見学は、教室が狭いこともあり、受講生を緊張させるので、ご遠慮いただいています。大変申し訳ありませんが、ご了解ください。

○学校のテストができません。英語嫌いにはなっていないようなので、気長に見守っています。

■学校のテストのどの部分ができていないかによって、対策は変わります(学校によっては、できなくても良い問題を出すところもあるので)。基礎的なことができていない場合には早目に対策をとる方がよいので、心配な場合には、本人に試験を持参させてください。

○2020 年大学入試改革に対応できるようにしていただけると助かります。

○新しい受験方式などに対する、何か新しい取り組みはあるのでしょうか？

■英語のカリキュラム全体が、大学入試改革に最初から対応していますのでご安心ください。

○どのように、だんだん難しい本も読めるようになるのか、今は想像できません。何か働きかけなくても自然と読めるようになるのでしょうか。

■4000 語程度の本がある程度読めるようになったら、ある時、突然、かなり難しい本も読めるようになります。継続的に読んでさえいただければ、誰でも、必ずその日がきます(本人もびっくりすることが多いです)。

○成績が伸び悩んでいるので、本人に勉強方法の確認をしていただきたい。よろしくお願いします。

■SEG の定期試験返却時に個別にミニ面談などをしますので、その中で確認したいと思います。

◇多読多聴 R クラスのアンケートから

○春期講習で小テストがあったそうです。通常授業でも取り入れてもらえると、授業の様子を話してもらえるかなと思いました。

■機会をみて、Writing の小テスト等をやってみたいと思います。

○英語で文章を読める楽しさを感じているようです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

CEFRについて

外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠

熟練した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいたときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典)ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

●CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) は、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20 年以上にわたる研究を経て策定された。欧州域内外で使われている。

●欧州域内では、国により、CEFR の「共通参照レベル」が、初等教育、中等教育を通じた目標として適用されたり、欧州域内の言語能力に関する調査を実施するにあたって用いられたりするなどしている。

<http://4skills.jp/index.html> より